

世界M&A戦略株ファンド (愛称：目利き力)

運用報告書（全体版） 第6期

(決算日 2023年12月1日)

(作成対象期間 2023年6月2日～2023年12月1日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のM&A関連企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年12月15日～2025年12月1日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2期末(2021年12月1日)	10,502	450	△ 0.8	12,741	6.4	—	95.7	10,794
3期末(2022年6月1日)	9,822	0	△ 6.5	13,148	3.2	—	98.6	7,740
4期末(2022年12月1日)	10,012	0	1.9	13,629	3.7	—	99.4	6,213
5期末(2023年6月1日)	10,434	600	10.2	14,315	5.0	—	96.7	4,856
6期末(2023年12月1日)	10,596	550	6.8	16,468	15.0	—	98.5	3,523

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。 (<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,434円

期末：10,596円（分配金550円）

騰落率：6.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

グローバル株式市況が上昇したことや、為替相場が円安で推移したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界M&A戦略株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比	投 資 信 託 受 組 証 券 入 入 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2023年 6 月 1 日	円 10,434	% -	14,315	% -	% -	% 96.7
6 月末	11,420	9.4	15,615	9.1	-	98.5
7 月末	11,250	7.8	15,865	10.8	-	98.5
8 月末	11,288	8.2	16,067	12.2	-	99.5
9 月末	10,964	5.1	15,720	9.8	-	98.5
10月末	10,055	△3.6	15,199	6.2	-	98.5
11月末	11,072	6.1	16,321	14.0	-	93.6
(期末) 2023年12月1日	11,146	6.8	16,468	15.0	-	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023.6.2~2023.12.1)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首から2023年7月下旬にかけて、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや米国の債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やFRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、米国政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、米国でつなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避されたことを受けて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことなどが好感されて大幅に上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、2023年6月末にかけて上昇しました。しかし7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で上昇幅を縮小しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。また、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

企業の成長戦略として積極的にM&A（合併・買収）を活用する企業は、変化する社会経済情勢に素早く適応し、成長力を高めることができると考えます。卓越した目利き力でM&Aを成功に導く「M&A巧者」を厳選しつつ、バリュエーションにも注意を払った運用を継続し、長期的に優れたリターン獲得を追求します。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023.6.2~2023.12.1)

■当ファンド

当ファンドは、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

有望企業を発掘する「インキュベーター」、優良事業を有利な条件で取り込む「コングロマリット」、事業統合で成長を加速させる「オペレーター」といった3タイプの「M&A買収側企業」に注目し、卓越した目利き力でM&A（合併・買収）を成功に導く「M&A巧者」を厳選し、投資しました。

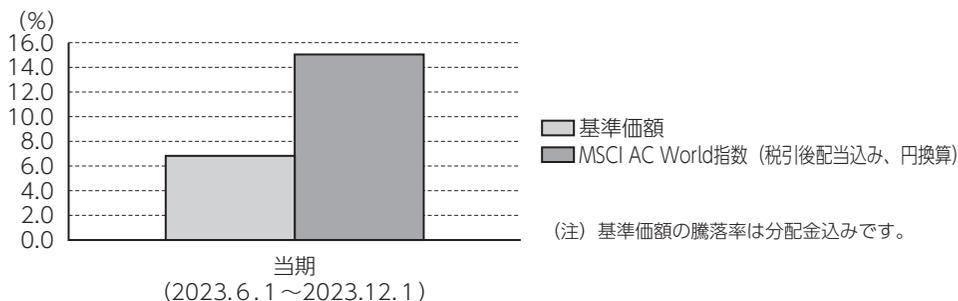
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年6月2日 ～2023年12月1日	
当期分配金（税込み）	(円)	550
対基準価額比率	(%)	4.93
当期の収益	(円)	550
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	596

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 710.77
(c) 収益調整金	435.58
(d) 分配準備積立金	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,146.36
(f) 分配金	550.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	596.36

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。また、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

企業の成長戦略として積極的にM&A（合併・買収）を活用する企業は、変化する社会経済情勢に素早く適応し、成長力を高めることができると考えます。卓越した目利き力でM&Aを成功に導く「M&A巧者」を厳選しつつ、バリュエーションにも注意を払った運用を継続し、長期的に優れたリターン獲得を追求します。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.6.2~2023.12.1)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.564%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,023円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.385)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	63	0.568	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

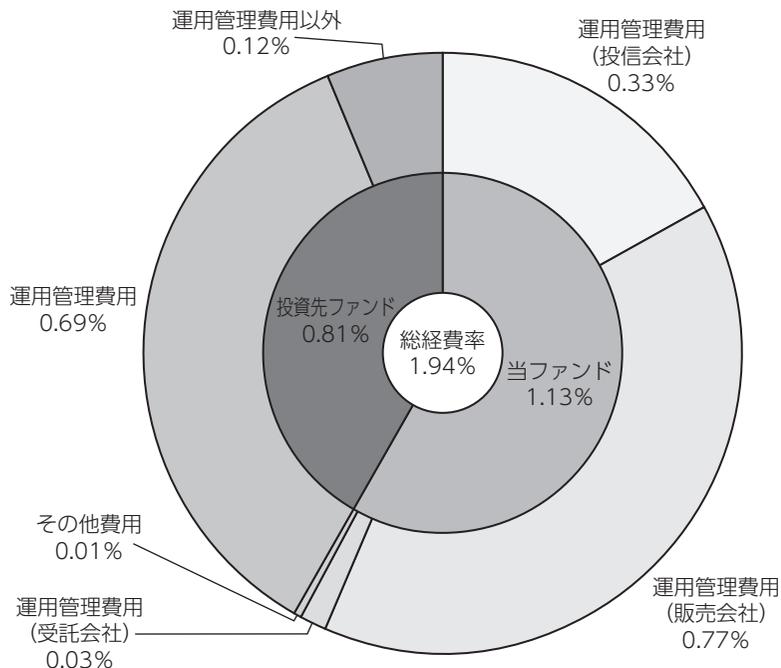
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率 (①+②+③)	1.94%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2023年6月2日から2023年12月1日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	INCOME INVESTMENT TRUST GLOBAL CAPITAL ALLOCATORS FUND JPY UNHEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 6.29752	千円 82,000	千口 122.21357	千円 1,663,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) INCOME INVESTMENT TRUST GLOBAL CAPITAL ALLOCATORS FUND JPY UNHEDGED CLASS	千口 253.93237	千円 3,468,970	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千口 1,001	千口 1,001	千円 998

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月1日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,468,970	% 92.9
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	998	0.0
コール・ローン等、その他	265,650	7.1
投資信託財産総額	3,735,619	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月1日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,735,619,386円
コール・ローン等	265,650,582
投資信託受益証券(評価額)	3,468,970,106
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	998,698
(B) 負債	212,600,368
未払収益分配金	182,862,073
未払解約金	5,590,423
未払信託報酬	23,972,558
その他未払費用	175,314
(C) 純資産総額(A - B)	3,523,019,018
元本	3,324,764,972
次期繰越損益金	198,254,046
(D) 受益権総口数	3,324,764,972口
1万口当り基準価額(C/D)	10,596円

* 期首における元本額は4,654,482,923円、当作成期間中における追加設定元本額は94,537,403円、同解約元本額は1,424,255,354円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,596円です。

■損益の状況

当期 自2023年6月2日 至2023年12月1日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 22,694円
受取利息	4,806
支払利息	△ 27,500
(B) 有価証券売買損益	260,479,492
売買益	340,847,948
売買損	△ 80,368,456
(C) 信託報酬等	△ 24,147,872
(D) 当期損益金(A + B + C)	236,308,926
(E) 前期繰越損益金	△ 13,978
(F) 追加信託差損益金	144,821,171
(配当等相当額)	(42,761,777)
(売買損益相当額)	(102,059,394)
(G) 合計(D + E + F)	381,116,119
(H) 収益分配金	△182,862,073
次期繰越損益金(G + H)	198,254,046
追加信託差損益金	144,821,171
(配当等相当額)	(42,761,777)
(売買損益相当額)	(102,059,394)
分配準備積立金	53,455,569
繰越損益金	△ 22,694

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	236,317,642
(c) 収益調整金	144,821,171
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	381,138,813
(f) 分配金	182,862,073
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	198,276,740
(h) 受益権総口数	3,324,764,972口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	550円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンド（世界M&A戦略株ファンド）はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能なFinancial Statements等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（米ドル建て）

貸借対照表
2022年12月30日

資産			
投資資産の評価額（簿価 \$ 55,372,738）		\$	42,310,780
現金			1,709
未収：			
配当			22,348
その他資産			4,811
資産合計			42,339,648
負債			
当座借越			12
未払：			
専門家報酬			70,918
運用会社報酬			63,580
会計および管理会社報酬			10,008
保管会社報酬			4,782
受託会社報酬			2,954
名義書換代理人報酬			2,555
その他負債			115
負債合計			154,924
純資産		\$	42,184,724
ヘッジなし・クラス		\$	42,184,724
発行済み受益証券			
ヘッジなし・クラス			520,138.19
1口当り純資産額			
ヘッジなし・クラス		\$	81

損益計算書

2022年12月30日に終了した会計期間

投資収益

配当収益（源泉徴収税（\$ 111,067）控除後）	\$	290,097
受取利息		7,895
投資収益合計		297,992

費用

運用会社報酬		356,683
専門家報酬		73,573
会計および管理会社報酬		40,000
保管会社報酬		13,195
名義書換代理人報酬		12,651
受託会社報酬		12,000
費用合計		508,102

純投資損益

(210,110)

実現損益および評価損益

純実現損益：

証券投資		(3,836,758)
外国為替取引および外国為替先渡取引		(27,366)
純実現損益		(3,864,124)

評価損益の純変動：

証券投資		(18,488,946)
外国為替換算および外国為替先渡取引		883
評価損益の純変動		(18,488,063)

純実現損益および評価損益の純変動

(22,352,187)

運用による純資産の純増減

\$ **(22,562,297)**

投資明細表
2022年12月30日現在

株数	証券の明細	評価額
	普通株 (99.2%)	
	カナダ (14.4%)	
	総合金融サービス (0.8%)	
12,142	Brookfield Asset Management Ltd. Class A	\$ 348,111
	環境制御 (4.1%)	
59,392	GFL Environmental, Inc.	1,736,028
	未公開株式 (3.6%)	
48,569	Brookfield Corp.	1,527,981
	ソフトウェア (5.9%)	
1,595	Constellation Software, Inc.	2,488,205
	カナダ合計 (簿価 \$ 5,986,729)	6,100,325
	デンマーク (3.5%)	
	運輸 (3.5%)	
9,285	DSV AS	1,460,899
	デンマーク合計 (簿価 \$ 1,093,258)	1,460,899
	フランス (2.8%)	
	アパレル (2.8%)	
1,645	LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	1,193,482
	フランス合計 (簿価 \$ 1,199,397)	1,193,482
	英国 (1.5%)	
	商業サービス (1.5%)	
74,167	Clarivate PLC	618,553
	英国合計 (簿価 \$ 1,942,597)	618,553
	日本 (3.3%)	
	化粧品・パーソナルケア (3.3%)	
28,100	Shiseido Co., Ltd.	1,377,956
	日本合計 (簿価 \$ 2,042,939)	1,377,956
	オランダ (8.9%)	
	インターネット (8.9%)	
54,810	Prosus NV	3,769,535
	オランダ合計 (簿価 \$ 4,314,913)	3,769,535
	米国 (64.8%)	
	航空宇宙・防衛 (8.3%)	
5,564	TransDigm Group, Inc.	3,503,373

世界M&A戦略株ファンド

株数	証券の明細	評価額
	商業サービス (3.1%)	
8,007	WEX, Inc.	1,310,346
	総合金融サービス (5.6%)	
22,834	Intercontinental Exchange, Inc.	2,342,540
	電機 (2.0%)	
10,954	Amphenol Corp. Class A	834,038
	ヘルスケア製品 (9.6%)	
6,603	Danaher Corp.	1,752,568
9,260	Stryker Corp.	2,263,977
	ヘルスケアサービス (2.4%)	
4,697	Charles River Laboratories International, Inc.	1,023,476
	保険 (2.0%)	
2,747	Berkshire Hathaway, Inc. Class B	848,548
	インターネット (8.0%)	
33,573	IAC, Inc.	1,490,641
28,060	Okta, Inc. Class A	1,917,340
		3,407,981
	メディア (5.0%)	
24,331	Walt Disney Co.	2,113,877
	ソフトウェア (17.5%)	
6,018	Roper Technologies, Inc.	2,600,318
16,821	SS&C Technologies Holdings, Inc.	875,701
26,329	Take-Two Interactive Software, Inc.	2,741,639
23,583	Twilio, Inc. Class A	1,154,624
		7,372,282
	通信 (1.3%)	
4,042	T-Mobile US, Inc.	565,880
	米国合計 (簿価 \$ 38,341,761)	27,338,886
	普通株合計 (簿価 \$ 54,921,594)	41,859,636

元本	証券の明細	純資産に 占める割合 (%)	評価額
	短期投資 (1.1%)		
	定期預金 (1.1%)		
	ケイマン諸島 (0.0%) *		
CAD	0** Brown Brothers Harriman & Co. 3.06% due 01/03/2023		\$ 0**
	ケイマン諸島合計 (簿価 \$ 0)		0**
	日本 (1.1%)		
USD	451,144 Sumitomo Mitsui Banking Corp. 3.59% due 01/03/2023		451,144
	日本合計 (簿価 \$ 451,144)		451,144
	定期預金合計 (簿価 \$ 451,144)		451,144
	短期投資合計 (簿価 \$ 451,144)		451,144
	投資総額 (簿価 \$ 55,372,738)	100.3%	\$ 42,310,780
	現金および他の資産を超過する負債	(0.3)%	(126,056)
	純資産	100.0%	\$ 42,184,724

* 0.05%未満の場合があります。

** 0.50ドル未満。

通貨の略称

CAD カナダ・ドル

USD 米ドル

<補足情報>

当ファンド（世界M&A戦略株ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2023年12月1日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2023年6月2日～2023年12月1日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年12月1日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

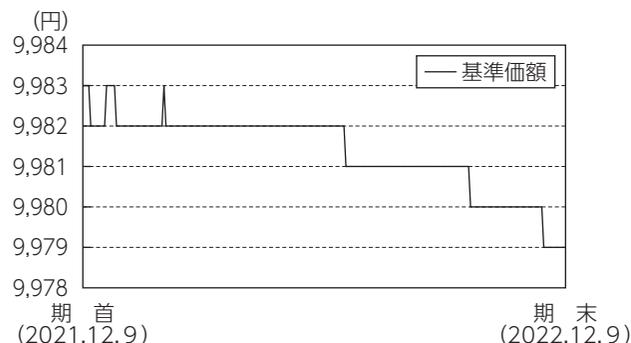
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
	9,983	-	-
12月末	9,983	0.0	-
2022年1月末	9,982	△0.0	-
2月末	9,982	△0.0	-
3月末	9,982	△0.0	-
4月末	9,982	△0.0	-
5月末	9,982	△0.0	-
6月末	9,981	△0.0	-
7月末	9,981	△0.0	-
8月末	9,981	△0.0	-
9月末	9,980	△0.0	-
10月末	9,980	△0.0	-
11月末	9,979	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	9,979	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,983円 期末：9,979円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 88,110	% 100.0
投資信託財産総額	88,110	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,110,325円
コール・ローン等	88,110,325
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	88,110,325
元本	88,294,563
次期繰越損益金	△ 184,238
(D) 受益権総口数	88,294,563口
1万口当り基準価額(C/D)	9,979円

*期首における元本額は603,229,011円、当作成期間中における追加設定元本額は15,027,049円、同解約元本額は529,961,497円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ債券コア戦略ファンド (為替ヘッジあり)	999円
ダイワ債券コア戦略ファンド (為替ヘッジなし)	999円
通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム (毎月分配型)	219,583円
通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム (年2回決算型)	24,953円
ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム (毎月分配型)	848,389円
ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム (年2回決算型)	66,873円
ダイワ米国株主還元株ファンド	64,214円
ダイワD Bモメンタム戦略ファンド (為替ヘッジあり)	6,592,748円
ダイワD Bモメンタム戦略ファンド (為替ヘッジなし)	10,288,683円
ダイワ/パリュール・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド	10,000円
世界M&A戦略株ファンド	1,001,302円
ダイワ・フジシル・レアル債α (毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α50コース	49,911円
ダイワ・フジシル・レアル債α (毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α100コース	49,911円
S & P 500 (マルチアイ搭載)	66,079,892円
ダイワ・スイス高配当株ツインα (毎月分配型)	2,996,106円

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,979円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は184,238円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 57,441円
受取利息	1,247
支払利息	△ 58,688
(B) 当期損益金(A)	△ 57,441
(C) 前期繰越損益金	△1,053,685
(D) 解約差損益金	953,937
(E) 追加信託差損益金	△ 27,049
(F) 合計(B + C + D + E)	△ 184,238
次期繰越損益金(F)	△ 184,238

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。